

次の臨時登校日は24日（火）です。

1・2年生ともに8：45登校完了、8：50～SHRとなります

新2・3年生へ

今回は3年生の学年主任の先生に原稿を依頼して、書いていただきました。

ここでは昨年の7月に発行した3年生の「学年だより」を一部掲載したいと思います。

1学期を振り返って

みなさんは、高校生活最後の1学期間をどのように振り返りますか？最高学年となり、最後の高総体や部活動が終わり、放課後補習や自学が始まり、と多くのことが思い出されるのではないのでしょうか。それだけに、振り返るとあっという間に過ぎてしまった1学期間だったのかもしれません。

しかし大切なことは、そこから「生きる糧」を得ることです。どれほど思い出に残っていようと、そこで感じた喜びや後悔が先に生かされないのであれば、それは非常にもったいないことです。以前も伝えたように、努力の価値はその後からつくられていきます。過去の自分に報いるためにも、この1学期間の振り返りを先へとつなげていきましょう。

残された時間をどう使うのか

センター試験まで、残すところ**183日**となりました。今日から183日前は1月17日（木）で、おおよそ1月進研記述模試を受けたくらいの時期です。その日から今日に至るまでに、みなさんはどれほどの成長を感じていますか？意識や生活が変わったという人も多いとは思いますが、求められる学力はそう簡単に身につくものではありません。

小学生の時などに夏休みの宿題をギリギリになってから取り組み始めた人は、終わらせることで「間に合った」と感じたことでしょう。しかし、受験や就職に向けた準備は、本番を迎えるまで終わることはありません。小学生の時のように、最後に慌てて学習をしたとしても、それは間に合ったとは言えないのではないのでしょうか。進路実現・自己実現する力を身につけるためには、理解や成長を伴わない「終わらせるだけの学習」を卒業することが必要です。残された時間で、それぞれに必要な努力と工夫を重ねていきましょう。

183日後の自分は、それまで積み重ねた1日1日の結晶です。今日一日を疎かにする者に大きな成長は訪れません。今日みなさんは、どんな一日を過ごしましたか？

3年生の1学期は、みなさんが思っているよりも何倍も早く終わってしまいます。そして、その時に現実を突きつけられることになります。「やってこなかった過去」は絶対に無くなることはありません。気分が高まって最終局面で一時的に頑張ったとしても、そう簡単に結果がついてくるものではないのです。上述の通り、今日一日を疎かにする者に何ができるでしょうか。

日頃部活をサボっている者が試合直前だけ頑張って、いきなり「俺はインターハイに行く」と言ったらどう思いますか？進路実現も同じではないのでしょうか。今日を怠けて、直前に「俺は第一志望に合格する」と言わない3年生になることを期待しています。



高校 2・3 年生になる直前にこのような話を聞く機会があって君たちは恵まれていますね。もう一つ恵まれているのはこの話をこの状況で聞くことではないでしょうか。このような状況だからこそ、君たちはこのことについてより深く考えることができるのかもしれない。

①振り返りをより有効なものにするために…

振り返りは次へどのようにいかしていくかという視点がないといけません。いろんな経験を通して、様々なことを感じているはずです。それらは君たちにとっての宝物です。今後の生活とつなげていきましょう。

②意識や生活が変わっても学力は…

すぐに結果がでないことはもどかしいですね。ここは我慢する以外方法はありません。今、始めることができれば、本番までに間に合わない可能性は低くなります。この期間に自分でいろんなことを考えよう。

③1 日 1 日の結晶

今日 1 日を疎かにする者に何ができるだろうか。1 日 1 日の積み重ねが重要であることはわかっているつもりですが…つもりじゃダメなんです。これを読んで、今、感じていることがあるはずです。今日から始めてみようじゃないか。

④「やってこなかった過去」はなくなる…

厳しいですが、現実です。自分にとって都合が悪いことも受け入れる必要があるのです。そこも含めての自己理解だと思えますよ。「やっていく未来」を 1 日 1 日積み重ねていきましょう。

ちなみに、今日から 183 日後とは…

9 月 22 日、体育祭も五教祭も終了して、2 学期の中間考査（高校 3 年生は学年末考査）くらいだと思います。

この臨時休業期間がいつまで続くかわかりませんが、1 日 1 日を積み上げていくしかありません。高校入試と違うので、数か月で求められている学力は身につけません。今日から以前よりも意味のある 1 日 1 日にしていきましょう。

高校入試と大学入試の違い

新 3 年生には何度となく話をしましたが、例えば、長崎県の公立高校の入試は不合格者を決めるためのものです。ということとで不合格になるものが少ないのです。それに対して、大学入試は合格者を決めるものです。例えば、倍率が 3 倍だとしたら、当たり前ですが、合格する者の方が少ないのです。定員 100 人の枠に、300 人が受験して、100 人が合格、200 人が不合格ということです。そこに向かって行っているということです。このようなことを理解できると 3 年生の先生方の話もより現実的なものとして捉えられるのではないのでしょうか。新 2 年生にはまだ時間がありますが、新 3 年生には…



毎日、確認してください

- ☐ 「検温」している
- ☐ 「感染予防」を確実にしている
- ☐ 「朝」に起きている
- ☐ 「適度な運動」を行っている
- ☐ 「何かについて」考えている

自己管理から…

入念な手洗いを…

朝食を家族でとれるといいですね

縄跳びやストレッチは家でできますね

何でもいいので、自分で考えよう

自ら考え、気づき、行動する絶好の期間（機会）です

高校 2 年生は下足を移動しているので「駐輪場」もわかります。「学習の記録」を忘れないようにね…